



一本松まちづくりひろば

16

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 米岡 美智枝

《減災町歩き》集大成の検討会を開催しました

平成 25 年度には、自治会毎に『減災町内オリエンテーリング』が 3 回開催されました。参加者のご意見を集約し検討する会が、2 月 9 日午後、第 4 地区会館で開催されました。氏、氏、横浜市・西区の担当者にご出席いただき、優先度、可能性等について話し合いました。



30 名が出席した検討会の様子

検討会で取り上げられた事柄

- ♥ 町内に避難用広場が欲しい！
長年の悲願達成に向けて一步、踏みだしたい（羽沢西部）
- ♥ 狭あい道路の改善（西戸部 2-1）
車が通り抜けできる道幅を実現

♥ 主要避難路の安全度の再確認と改善

- ♣ 道路に残された電柱の状況調査
セットバックして広くなった道路に電柱が避難路の障害物になっている。
- ♣ 危険な階段の改修の可能性を検討
手摺の無い階段、高さが不揃いの階段

高出力のトランシーバーを購入しました。



防災拠点の訓練で実施した電波交信テスト。感度良好

災害時（事件発生時）正確な状況を敏速に把握するため、西区から助成金を受けて各自治会で 3 台トランシーバーを購入しました。今後使用方法の講習会等を開催し多数の方に手に取ってもらい使用してもらえる様にしてゆきます。台数も増し、日常の防犯活動にも積極的に活用してゆきます。

「防災マップ」活用していますか？

「長く住んでいたけれど、いかに町内のことを知らなかったか分かりました。」オリエンテーリングに参加した方の感想です。お配りした「防災マップ」を手に町内を、探検してみてください。





羽沢西部自治会内の狭隘道路が安全な道に変化しました。

横浜市と区の助成で、とってもしゃい道路が拡幅され、不安を感じる擁壁が安心できる擁壁に生まれ変わりました。平成 22 年から設計が始まり、平成 23 年 9 月工事に着手し平成 25 年 3 月に完了しました。関係者に本当に感謝です。

非 公 開

去る平成 25 年 12 月 8 日に、平成 25 年度の一本松まちづくり協議会の活動事業の一貫として、すみだ環境ふれあい館と「一寺言問を防災のまちにする会」の見学に、まちづくり協議会のメンバーと第四地区自治会の有志の人達、総勢 30 名で行ってきました。すみだ環境ふれあい館は、旧小学校の廃校を利用し、天からの恵みもの「雨水」に関する資料の展示、また雨水を利用する為の色々な機器、大小の形状の異なる雨水タンク等展示してあり、子供から大人まで楽しめる施設でした。

一寺言問地区は、墨田川、明治通り、水戸街道、桜通りに囲まれた、家屋の密集した道路も狭い平らな地盤の低い昔の面影の残る地域でした。

現地見学アンケートのまとめ（参加者の要約）

1) すみだ環境館について

旧小学校の廃校を効率的に再利用し雨水に関する資料、実物機器（雨水タンク、樋等）展示してあり学習す荀施設としてよかった。



2) 一寺言問(町の様子)について感じたこと

歴史のある町で、今も雰囲気が残されているが、道路は平坦だが狭く老朽化した家屋が多くみられた。



3) 一寺言問地区の防災まちづくりに関して

地下タンクの他に、個人管理のタンクも多くあり、消火栓が少ない分、消火箱に消火器を設置し初期消火に重点をおいている。行きどまり路地は住民同志で話し合い抜けられる様工夫し防災に関して町ぐるみで行っている



4) 現地見学会に参加して如何でしたか

見学に行った事とてもよかった。雨水の大切さ、防災まちづくりに携わることが大変勉強になった。

